

調査概要

- ◆ **調査の目的**
都内在住外国人の増加により、日本人と外国人が地域で共に暮らし、活躍していく多文化共生社会を実現するため、都民を対象にやさしい日本語についての意識調査を実施した。さらに効果的なやさしい日本語普及啓発事業に資することを目的に本調査をおこなった。
- ◆ **調査項目**
 - ①外国人との接触機会と意思疎通の図り方
 - ②やさしい日本語の認知度と認知経路
 - ③やさしい日本語の使用頻度と使用場面
 - ④やさしい日本語の使用意向
 - ⑤災害や行政の情報におけるやさしい日本語の取組の認知度と認知経路、推奨度
- ◆ **調査対象** 16歳以上の都民
- ◆ **調査時期** 令和8年3月6日～3月12日
- ◆ **調査手法** インターネットモニターを対象とするWeb調査
- ◆ **回収結果** 2,272サンプル
- ◆ **サンプル属性の内訳**
16歳以上の都民均等割り付け

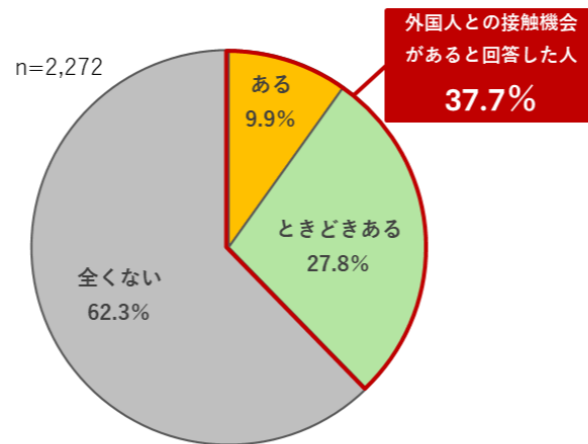
	全体	男性				
		20代以下	30代	40代	50代	60代以上
(実数)	2,272	201	223	229	234	234
(%)	100.0	8.8	9.8	10.1	10.3	10.3
	全体	女性				
		20代以下	30代	40代	50代	60代以上
(実数)	2,272	209	230	236	237	239
(%)	100.0	9.2	10.1	10.4	10.4	10.5

調査結果

Q1. 外国人との接触機会 / Q2. 外国人と関わる場面

- **外国人との接触機会がどの程度あるか**について、尋ねた。「ある」「ときどきある」と回答した「**あると回答した人の合計**」は**37.7%**であった(図1参照)。
- 外国人との接触機会があると回答した人(全体の37.7%)に**外国人と関わる場面**について尋ねた。「**一緒に仕事をしている(33.6%)**」が最も高くなっている。次いで、「外国人の友人がおり、付き合いがある(23.6%)」「小売店等でサービスを受ける(19.5%)」「外国人に対してサービスを提供する(18.7%)」「挨拶をする程度の顔見知りがある(13.9%)」「隣近所の付き合いがある(7.0%)」「子どもの友だちやその親に外国人がおり、付き合いがある(6.9%)」「地域活動と一緒に活動している(5.0%)」「医療や介護現場でサービスを受ける(2.1%)」「その他(7.9%)」となっている(図2参照)。
- 外国人との接触機会があると回答した人(全体の37.7%)に**初めて会う外国人との意思疎通の図り方**について尋ねた。「英語などの外国語を使って話しかける(37.7%)」「日本語で話しかける(51.0%)」「あまり話さないようにしている(11.3%)」であった(図3参照)。

図1 外国人との接触機会



※小数点以下第1位表記(第2位を四捨五入)のため、合計値とカテゴリー個々を加算した計に差異が生じる場合がある。

図2 外国人と関わる場面(複数回答可)

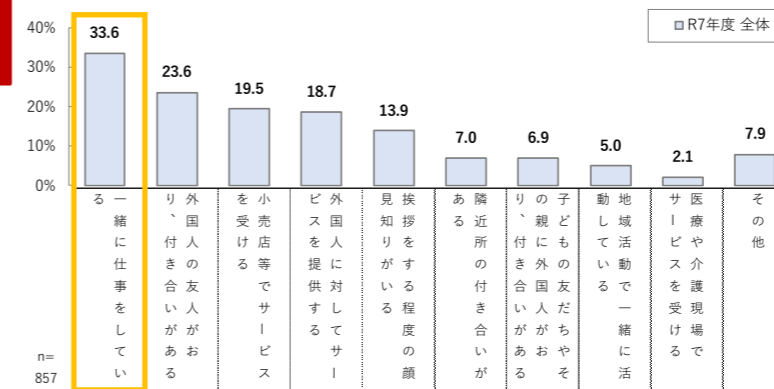
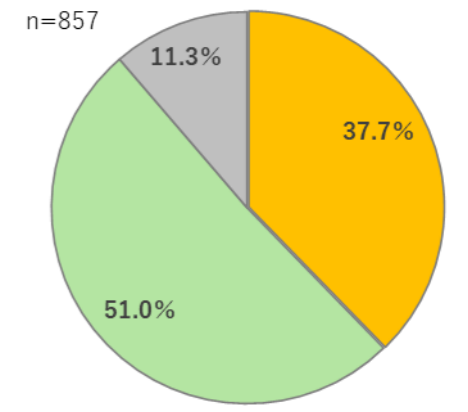


図3 初めて会う外国人との意思疎通の図り方

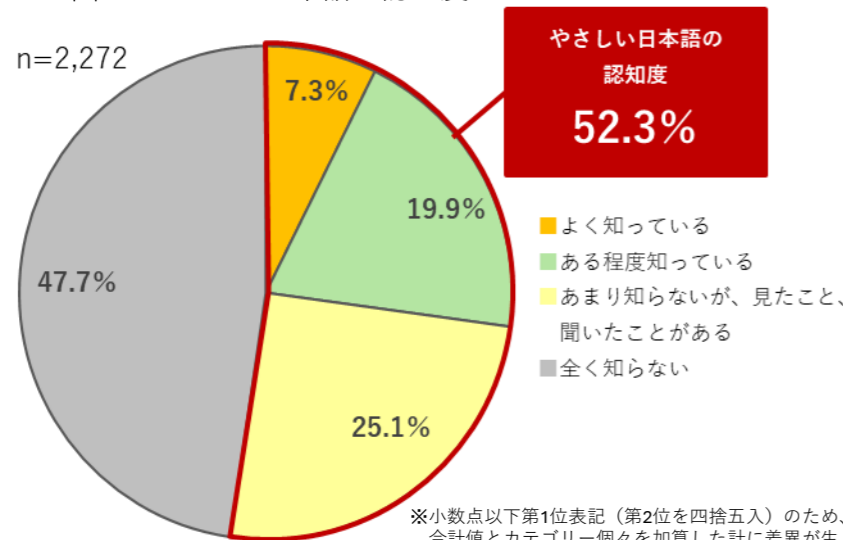


■英語などの外国語を使って話しかける
■日本語で話しかける
■あまり話さないようにしている

Q5. やさしい日本語の認知度

- **やさしい日本語をどの程度知っているか**について、尋ねた。「よく知っている」「ある程度知っている」「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」と回答した「**知っている(計)**」は**52.3%**であった(図4参照)。
- 性別で見ると、「知っている(計)」は**男性(52.1%)**、**女性(52.6%)**と、ほぼ同率である。
- 年代別では、「知っている(計)」は、20代以下(67.3%)、30代(55.0%)、40代(51.4%)、50代(44.8%)、60代以上(45.2%)と、**20代以下の知っている割合が他の年代に比べ最も高くなっている。**

図4 やさしい日本語の認知度



※小数点以下第1位表記(第2位を四捨五入)のため、合計値とカテゴリー個々を加算した計に差異が生じる場合がある。

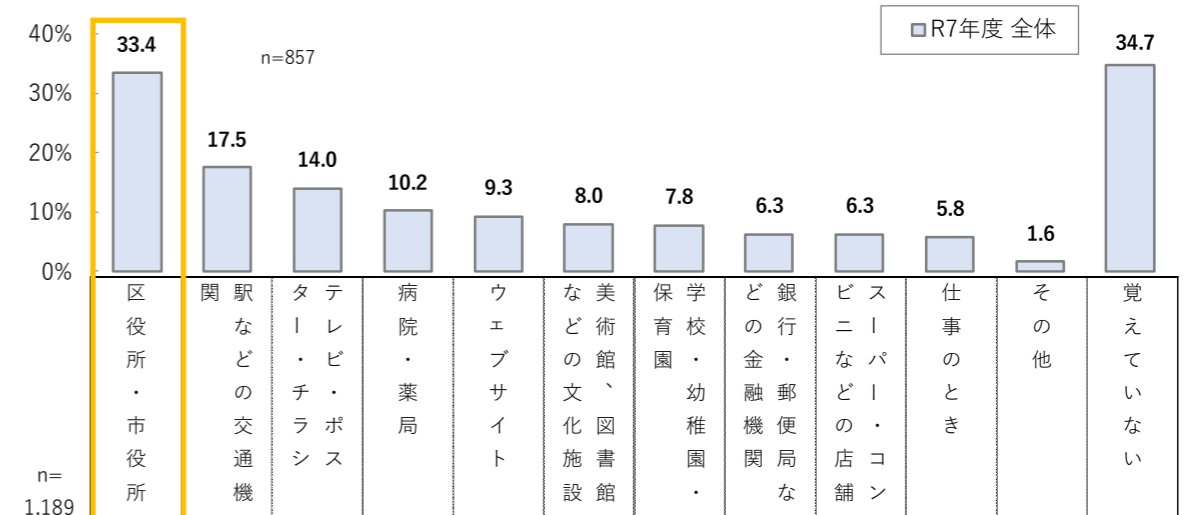
表1 やさしい日本語の認知度(性別・年代別)

	性別	n数	やさしい日本語の認知度				知っていると回答した人の合計
			よく知っている	ある程度知っている	あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある	全く知らない	
R7年度 全体		2,272	7.3%	19.9%	25.1%	47.7%	52.3%
性別	男性	1,121	7.9%	19.4%	24.9%	47.9%	52.1%
	女性	1,151	6.7%	20.5%	25.4%	47.4%	52.6%
年代	20代以下	410	15.6%	28.5%	23.2%	32.7%	67.3%
	30代	453	7.5%	20.8%	26.7%	45.0%	55.0%
	40代	465	6.9%	19.4%	25.2%	48.6%	51.4%
	50代	471	3.8%	15.1%	25.9%	55.2%	44.8%
	60代以上	473	3.6%	17.1%	24.5%	54.8%	45.2%

Q6. やさしい日本語の認知経路

- やさしい日本語を「知っている(計)」と回答した人(全体の52.3%)に**やさしい日本語の認知経路**を尋ねた(複数回答可)。
- 「**区役所・市役所(33.4%)**」が最も高くなっている。次いで、「駅などの交通機関(17.5%)」「テレビ・ポスター・チラシ(14.0%)」「病院・薬局(10.2%)」「ウェブサイト(9.3%)」「美術館、図書館などの文化施設(8.0%)」「学校・幼稚園・保育園(7.8%)」「銀行・郵便局などの金融機関、スーパー・コンビニなどの店舗(ともに6.3%)」「仕事するとき(6.0%)」「その他(1.8%)」となっている(図5参照)。

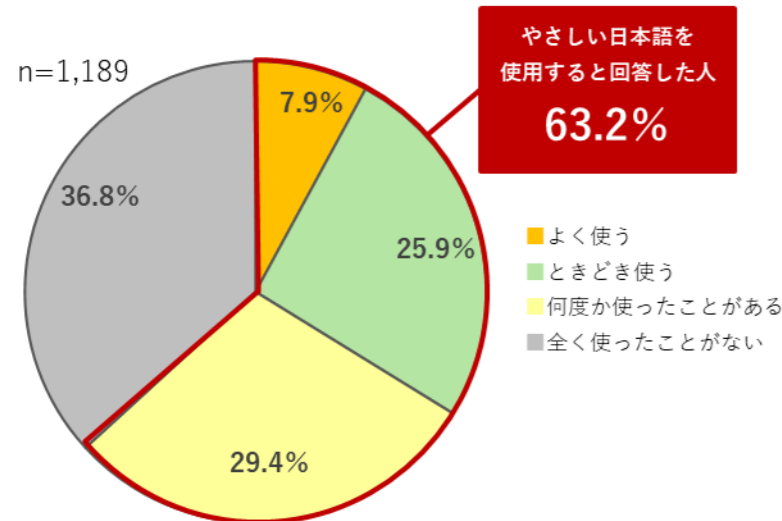
図5 やさしい日本語の認知経路(複数回答可)



Q7. やさしい日本語の使用頻度

- ▶ やさしい日本語を「知っている（計）」と回答した人（全体の52.3%）に**やさしい日本語の使用頻度**を尋ねた。「よく使う」「ときどき使う」「何度か使ったことがある」と回答した「**使用する（計）」は63.2%**であった（図6参照）。
- ▶ 性別で見ると、「使用する（計）」は**男性（62.2%）、女性（64.3%）**と、若干女性が高くなっている。
- ▶ 年代別で見ると、「使用する（計）」は、20代以下（76.1%）、30代（60.2%）、40代（62.8%）、50代（49.8%）、60代以上（64.0%）と、**20代以下の使用する割合が他の年代に比べ最も高くなっている。**

図6 やさしい日本語の使用頻度



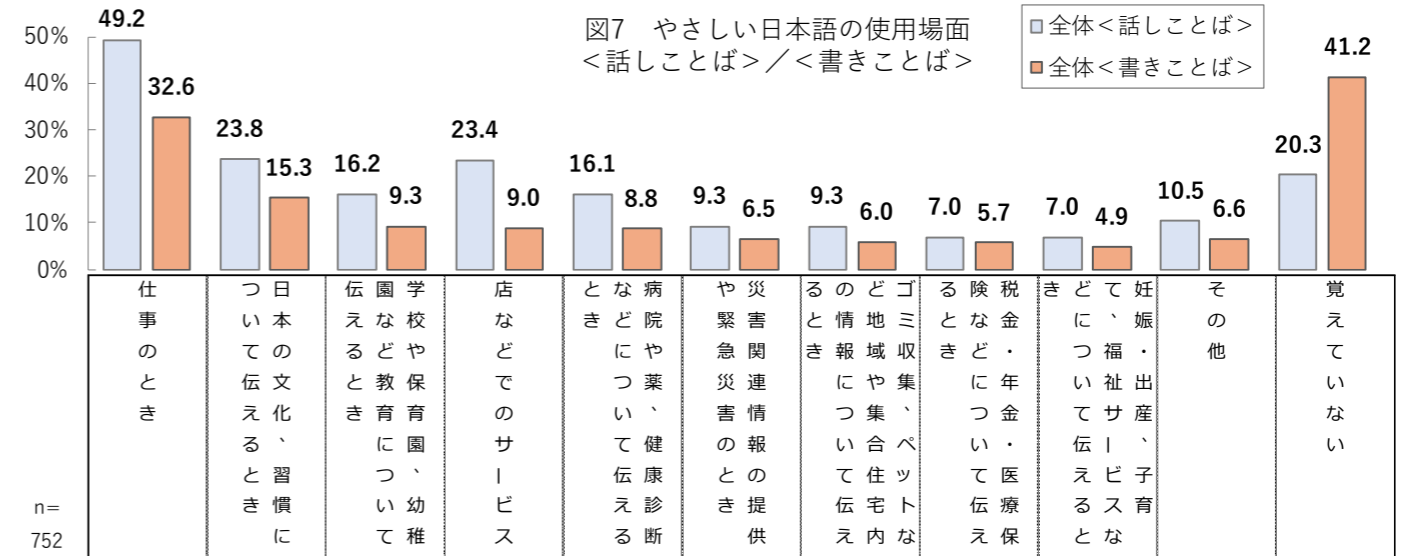
※小数点以下第1位表記（第2位を四捨五入）のため、合計値とカテゴリー個々を加算した計に差異が生じる場合がある。

表2 やさしい日本語の使用頻度（性別・年代別）

	n数	Q7 やさしい日本語の使用頻度				使用する と回答した 人の合計
		よく使う	ときどき 使う	何度か 使ったこ とがある	全く使っ たことが ない	
R7年度 全体	1,189	7.9%	25.9%	29.4%	36.8%	63.2%
性別						
男性	584	9.4%	25.2%	27.6%	37.8%	62.2%
女性	605	6.4%	26.6%	31.2%	35.7%	64.3%
年代						
20代以下	276	12.7%	33.0%	30.4%	23.9%	76.1%
30代	249	10.8%	22.9%	26.5%	39.8%	60.2%
40代	239	6.3%	25.9%	30.5%	37.2%	62.8%
50代	211	4.7%	21.8%	23.2%	50.2%	49.8%
60代以上	214	3.3%	24.3%	36.4%	36.0%	64.0%

Q8. やさしい日本語の使用場面<話しことば>/<書きことば>

- ▶ やさしい日本語を「使用する（計）」と回答した人（Q7回答者全体の63.2%）に**やさしい日本語の使用場面**を話しことば・書きことば、それぞれについて、尋ねた。
- ▶ ともに「**仕事するとき**」の割合が最も高く、話しことば（49.2%）、書きことば（32.6%）となった。
- ▶ 全ての項目において、話しことばの割合の方が高くなっており、**やさしい日本語の使用場面において話しことばを使用する割合が高い傾向にある**ことがわかる。

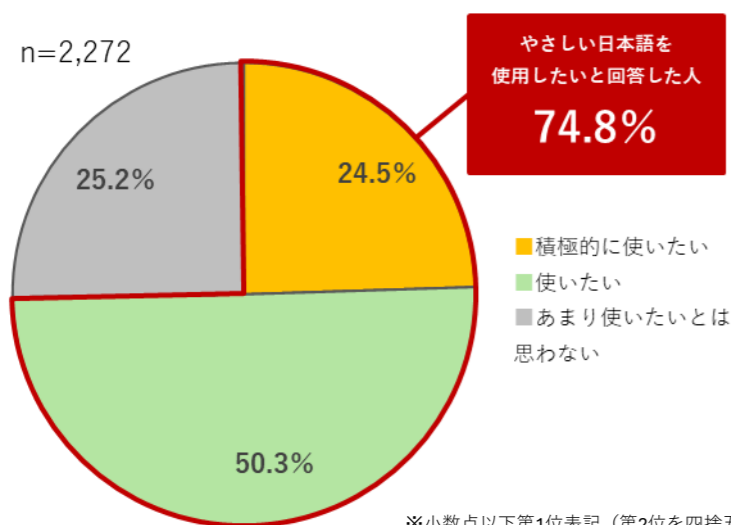


※選択肢は「全体<書きことば>」の割合で「その他」「覚えていない」を除く降順で並び替えています。

Q10. やさしい日本語の使用意向

- ▶ やさしい日本語を必要とする方と話すときに**やさしい日本語を使用したいか**を尋ねた。「積極的に使いたい」「使いたい」と回答した「**使用したい（計）」は74.8%**であった（図8参照）。
- ▶ 性別で見ると、「使用したい（計）」は**男性（69.2%）、女性（80.2%）**と、女性の方が高くなっている。
- ▶ 年代別では、「使用したい（計）」は、20代以下（80.2%）、30代（73.1%）、40代（71.4%）、50代（72.8%）、60代以上（77.0%）と、**20代以下の使用したい割合が他の年代に比べ最も高くなっている。**

図8 やさしい日本語の使用意向



※小数点以下第1位表記（第2位を四捨五入）のため、合計値とカテゴリー個々を加算した計に差異が生じる場合がある。

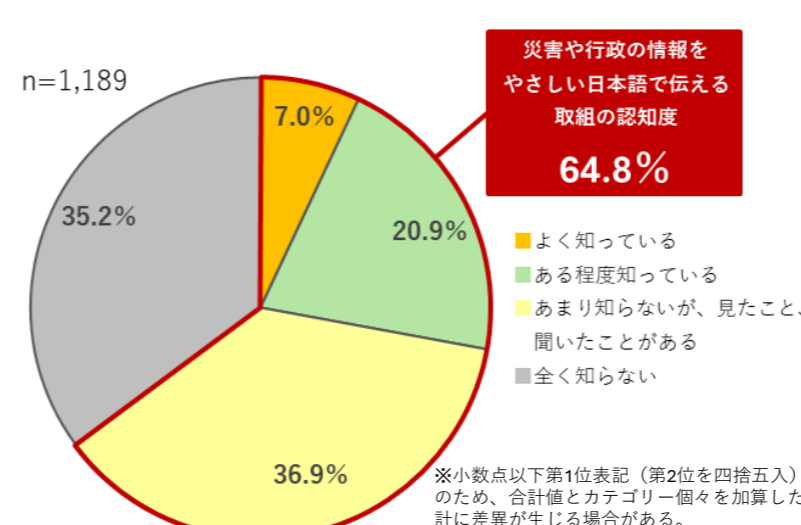
表4 やさしい日本語の使用意向（性別・年代別）

	n数	Q10 やさしい日本語の使用意向			使用したい と回答した 人の合計
		積極的に使 いたい	使いたい	あまり使 いたいと 思わない	
R7年度 全体	2,272	24.5%	50.3%	25.2%	74.8%
性別					
男性	1,121	18.8%	50.4%	30.8%	69.2%
女性	1,151	30.0%	50.2%	19.8%	80.2%
年代					
20代以下	410	33.7%	46.6%	19.8%	80.2%
30代	453	26.0%	47.0%	26.9%	73.1%
40代	465	23.2%	48.2%	28.6%	71.4%
50代	471	22.1%	50.7%	27.2%	72.8%
60代以上	473	18.6%	58.4%	23.0%	77.0%

Q17. 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度

- ▶ やさしい日本語を「知っている（計）」と回答した人（全体の52.3%）に**災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取り組みを知っているか**を尋ねた。「よく知ってる」「ある程度知っている」「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」を合わせた「**取組を知っている（計）」は64.8%**であった（図9参照）。
- ▶ 性別で見ると、「取組を知っている（計）」は**男性（67.3%）、女性（62.3%）**と、男性の方が高くなっている。
- ▶ 年代別では、「取組を知っている（計）」は20代以下（73.6%）、30代（66.3%）、40代（62.3%）、50代（61.1%）、60代以上（57.9%）と、**20代以下の取組を知っている割合が他の年代に比べ最も高くなっている。**

図9 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度



※小数点以下第1位表記（第2位を四捨五入）のため、合計値とカテゴリー個々を加算した計に差異が生じる場合がある。

表5 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度（性別・年代別）

	n数	Q17 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度				知っている と回答した 人の合計
		よく知っ ている	ある程度 知っている	あまり知 らないが、 見たこと、 聞いたこ とがある	全く知 らない	
R7年度 全体	1,189	7.0%	20.9%	36.9%	35.2%	64.8%
性別						
男性	584	7.9%	21.6%	37.8%	32.7%	67.3%
女性	605	6.1%	20.2%	36.0%	37.7%	62.3%
年代						
20代以下	276	14.5%	30.1%	29.0%	26.4%	73.6%
30代	249	7.6%	26.1%	32.5%	33.7%	66.3%
40代	239	5.9%	20.5%	36.0%	37.7%	62.3%
50代	211	3.3%	12.3%	45.5%	38.9%	61.1%
60代以上	214	1.4%	11.7%	44.9%	42.1%	57.9%